

6月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[平成30年6月末現在]

平成30年7月11日
茨城県中小企業団体中央会

製造業の数値はおおむね悪化したものの、今年は梅雨が短く雨が少なかった影響で受注増や集客に繋がった等で非製造業の数値はおおむね改善した。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「売上高」は改善したが、「景況」「収益状況」は変化がなかった。

業種別に見ると、製造業では、「収益状況」に変化はなかったが、「景況」「売上高」は悪化した。非製造業では、「景況」「売上高」は改善したが「収益状況」は変化がなかった。

景況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-7.7ポイント、非製造業は、前月比8.4ポイント改善の-20.8ポイント、全体では、前月比で変化なしの-14.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比で3.9ポイント悪化の11.5ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント改善の-25.0ポイント、全体では、前月比4.0ポイント改善の-6.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比で変化なしの-7.7ポイント、非製造業は、前月比で変化なしの-29.2ポイント、全体では、前月比で変化なしの-18.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	パン給食の減少は当組合にとって死活問題。全国的に米余り分を学校給食で消費する動きは以前よりあったが、ここ最近学校給食で米飯実施を多くさせようと補助金を出す市町村もある。地産地消の名のもとに米飯給食の拡大が止まらない。
	餡	
	味噌	
	酒	<p>○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状</p> <p>当県5月の課税移出数量は、全体で18ヶ月ぶりに前年同月を上回り105.7%となった。特に普通酒が106.4%と大きく伸びたが一過性のものと捉えている。特定名称酒においては、全体で104.7%と順調である。なお、前1年間(平成28年6月～29年5月)の比較では100.2%と落ち込みは止まっている。5月の焼酎については、前年同月比82.1%と低迷しているが、月別には大きく増減するものと思われる。</p> <p>また、平成30年4月の輸出免税課税量は前年同月比107.1%の伸びを示しており、前年同月比においては112.3%と順調に推移している。</p> <p>○県内当業界について</p> <p>6月16日(土)に全国日本酒フェア2018が開催され、当県組合では12社が出展参加した。世界で1番日本酒が集まる日として毎年来場者が増え、今年は総勢7,300名(昨年比700名増)と加工過去最高となった。</p> <p>そのほか、本年度で106回を迎えた全国新酒鑑評会の入賞酒(金賞含)約410点のきき酒会を実施し、日本酒の魅力をあますことなく紹介した。</p> <p>また、6月21日には当組合関係支部の下部組織である関東信越清酒協議会(茨城醸造会主催)の研修会(第64回夏季ゼミナール)を開催し、管内若手組合員約60名が参加した。貴団体からの支援もあり内容も充実した研修会であった。</p>
	納豆	納豆の販売価格について各スーパーより値上げの了承が得られた。健康食品として消費されているためか値上げの影響は少なく売れ行きには変化がない様子。今後も資材や燃料等の値上げ等により収益の確保が厳しくなり、それに加えて人材不足が深刻な状況である。
	菓子	
	繊維工業	織物
袋物		5月からの落ち込みの反動により受注量の多い会社と少ない会社に二極化された。7月は調整したい。
衣服		
木材・木製品	製材	需要は盛り上がりを欠いており、販売店やプレカット工場は停滞感が広がっている。住宅需要は大手ハウスメーカーが主体となっており、地場の大工・工務店は厳しい受注情勢が続いている。また、外材(米材)製品に値上げがみられ、国産材製品は持ち合い傾向で推移。
	県北地区プレカット	全体的に納期が伸びていた物件がようやく6月に加工出荷でき、結果的にはまずまずの成果だった。その反動で7月上旬の物件が少なく、中旬から下旬に物件が集中している感がある。天候(雨)の影響が今後どのようになるかが心配である。
	県央地区プレカット	老健施設等の大型物件は好調。例年梅雨時期が短かったこともあり、基礎工事遅れの影響は少なかった。
紙・紙加工品	段ボール	段ボール業界では最近廃業やM&Aが続いており、6月も売上約30億円の会社が大手に吸収された。ほかにも数社M&Aの話が聞かれる。6月の売上は前年並みか若干減少の様子。
印刷	総合	
化学・ゴム	自動車部品	
窯業・土石製品	石材	
	コンクリート製品	
	焼物	夏場に向けて多くの人を惹きつけ、関心を持ってもらえるような取組をしていきたい。
	生コンクリート	
鉄鋼・金属	鍍金	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は前年同月と比較して不変か若干悪い程度である。 ・電気料金は下がっているが、燃料費は値上がり傾向にある。 ・貴金属は高値で推移しているが、亜鉛金属は値下がり傾向にある。 ・薬品等については大きな変動は無い。
	鋳造	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、対前年同月比 増加が5社、減少が2社となり、全体増減率は100%であった。 また、国内向けトラクター・コンバイン部品等の受注が低迷している。一方で海外向け製品の部品受注は好調で、売上が増加している5社は平均で前年同月比14%の売上増となった。このような国内向け不振、海外向け好調は今後とも継続される見込みである。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	売上は増加傾向にあるが、収益は横ばいである。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比1.21%の減少。 時鮭、スルメイカなど漁獲量が低迷し、高値が続いている。7月20日の土用の丑の日を前にウナギの在庫は増加したが、価格は上昇し高値で推移している。
		県南地区卸	
		食品卸売業	6月は野菜・果実合計で前年同月比90%の取扱高となった。 野菜に関しては、梅雨の影響を受け果菜類などで入荷減となり、価格の上昇がみられた。一方、玉ねぎ、じゃがいもは入荷量に対し需要が少なく、平年に比べて大幅な単価安で推移している。 果実に関しては、安定した天候により全体的に前進出荷となり、入荷増、単価安で推移した。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比約12%の減少。期初の建設工場の減少が響いている。
	小売業	県北地区共同店舗	前年同月比で、売上は108.7%、客数137.8%となった。 前年との比較のため喜ばず、より一層努力が必要。
		県央地区共同店舗	全体の売上は前年同月比101%であったが、価格訴求の会員限定セールでは103%でやや好調。しかし、衣料品は低調で今月も前年同月比を割り込んだ。
		県南地区共同店舗	客数減のため苦戦。特に衣料品の客数は前年同月比85%と大苦戦。イベントや催事等で集客策を図るも天候不順のためか効果が上がらない。 会員制のフィットネスやリラクゼーション、アミューズ等は、売上・客数共に前年同月比100%を維持した。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	サッカーロシアワールドカップで世間は賑わっていたもののその恩恵は受けられなかった。
		石油	原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で19円上昇している。それに関わらず、大手業者が集中している地区では一般組合員の仕入価格を下回るような安値販売競争が続いており、収益は改善されていない。
		農機具	
	中古自動車	6月の車両販売価格は前年同月比77.4%の242,895,000円、販売台数は81.7%の182台、平均単価は105.5%の1,335,000円となった。平均単価はよかったものの販売台数と販売車両価格は悪化した。	
	商店街	水戸	
		筑西	サッカーロシアワールドカップでの日本チームの活躍により話題は豊富であったが、現実的な収益には繋がらなかった。
	建設業	総合	公共工場の発注が始まり、景況は明るくなってきた。特に学校関係の発注が例年より早まり夏休み中の工事が可能になった。工事の受注競争が激しく最低制限価格での受注が大半であるため各社利益は減少傾向である。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設	
		鉄筋工事業	
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前月比は、普通車が89.0%、軽自動車が92.1%とともに減少となった。	
	ホテル・旅館	・全体的には上向きとなっているが、県北臨海エリアでは伸び悩みが続いている。 ・水戸市内においては例年開催されるスポーツ大会での稼働率が前年度より上回ったことが収益にも反映されている。 ・古河市や筑西市においては、作業員の連泊やスポーツ少年団の連泊など稼働率は上昇傾向にあるが、従業員不足のため対応しきれず断ざるを得ない施設もある。 ・前年同月と比較して、個人客よりも団体客の流入が目立つ。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	6月の当組合の組合員数は117名、車両台数は150台で先月と比較して、1名減少、2台の減少となった。 また、全国連合会においては組合員数は8,270名、車両台数は9,763台で先月と比較して21名減少、26台減少となった。
	県北地区一般貨物	顧客動向は全体的に昨年同時期と比較すると出荷物は減少している。また、燃料費も依然高騰が続き収益は厳しい状況にある。
	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	日本酒業界の全国的な取り組みの一つである、「酒蔵ツーリズム」の企画連携、乾杯条例の広がりのおかげで10月1日開催の一斉乾杯イベントの支援協力をお願いしたい。
	パン	パン給食実施回数確保
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	一般競争入札、及び指名競争入札は最低制限価格での落札を各社が競い合う状況であるため、積算価格を正確に算出する技術が落札の鍵となっている。そのため受注会社に偏りが発生している、工事受注機会の公平化を行えないだろうか。

月次景況調査 6月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比
景 況	▲ 14.0	▲ 14.0	0.0	▲ 7.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.8	▲ 29.2	8.4
売 上 高	▲ 6.0	▲ 10.0	4.0	11.5	15.4	▲ 3.9	▲ 25.0	▲ 37.5	12.5
収 益 状 況	▲ 18.0	▲ 18.0	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0
販 売 価 格	12.0	0.0	12.0	11.5	11.5	0.0	12.5	▲ 12.5	25.0
取 引 条 件	▲ 6.0	▲ 4.0	▲ 2.0	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 4.2	▲ 4.2	0.0

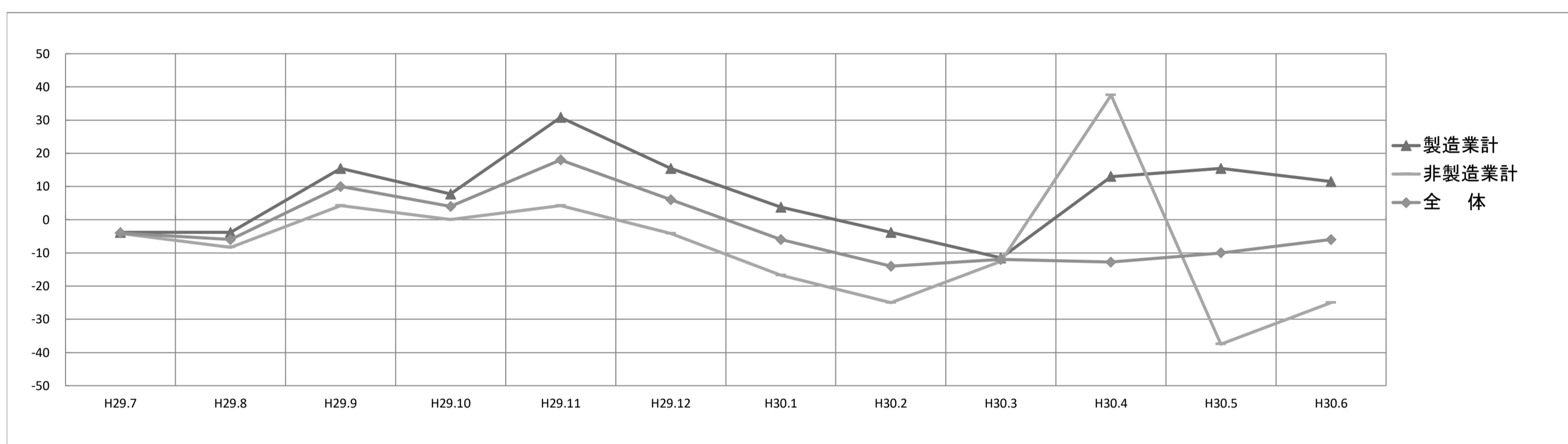
中小企業月次景況調査(平成30年6月)DI値(前年同月比)

	売上高					在庫数量					販売価格					取引条件					収益状況					資金繰り					設備操業度					雇用人員					業界の景況					
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)									
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数		
製造業	食料品	16.7	2	3	1	6	△ 33.3	0	4	2	6	33.3	2	4	0	6	0.0	0	6	0	6	33.3	2	4	0	6	16.7	1	5	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	33.3	2	4	0	6
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	33.3	2	0	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	一般機器	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	製造業計	11.5	6	17	3	26	△ 19.2	0	21	5	26	11.5	4	21	1	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 7.7	2	20	4	26	0.0	1	24	1	26	3.8	3	21	2	26	0.0	2	22	2	26	△ 7.7	2	20	4	26
非製造業	卸売業	△ 100.0	0	0	4	4	50.0	2	2	0	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4					△ 25.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 18.2	4	1	6	11	9.1	1	10	0	11	18.2	3	7	1	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 9.1	1	8	2	11	△ 36.4	0	7	4	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2					50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2		
	建設業	20.0	1	4	0	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5		
	運輸業	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	△ 25.0	5	8	11	24	20.0	3	12	0	15	12.5	5	17	2	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 29.2	1	15	8	24	△ 16.7	0	20	4	24					△ 4.2	2	19	3	24	△ 20.8	1	17	6	24	
全体	△ 6.0	11	25	14	50	△ 4.9	3	33	5	41	12.0	9	38	3	50	△ 6.0	0	47	3	50	△ 18.0	3	35	12	50	△ 8.0	1	44	5	50	3.8	3	21	2	26	△ 2.0	4	41	5	50	△ 14.0	3	37	10	50	

《売上高の推移》

前年同月比	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
製造業(食料品製造業以外)	5.0	5.0	25.0	10.0	35.0	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0	10.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 3.8	15.4	7.7	30.8	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4	11.5
卸売業	▲ 75.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	9.1	▲ 9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3	▲ 18.2
サービス業	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 8.3	4.2	0.0	4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0
全体	▲ 4.0	▲ 6.0	10.0	4.0	18.0	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0	▲ 6.0

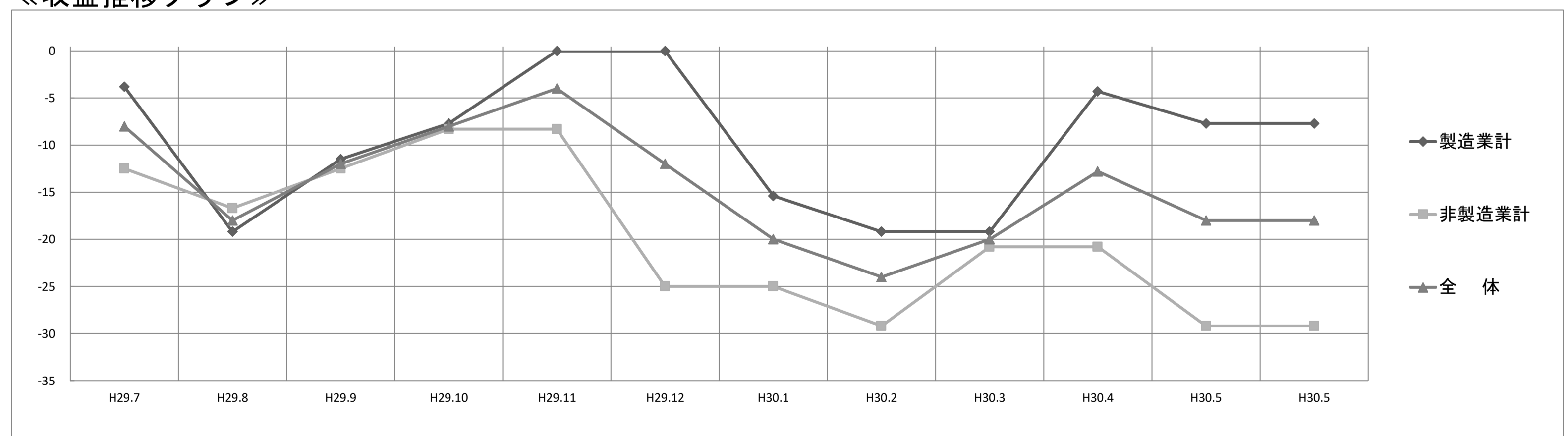
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.5
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	33.3
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 15.0	▲ 5.0	▲ 10.0	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 7.7
卸売業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	0.0	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 45.5
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	50.0
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2
全体	▲ 8.0	▲ 18.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0	▲ 18.0

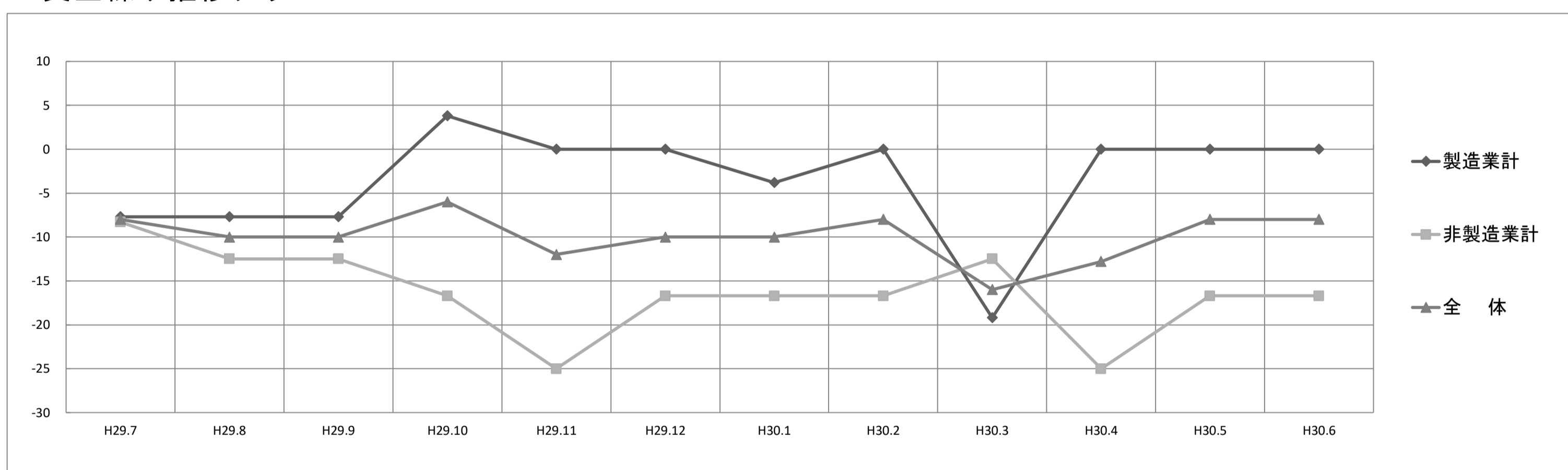
《収益推移グラフ》



《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	0.0	▲ 5.0	0.0	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 7.7	3.8	0.0	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0	0.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7
全体	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0	▲ 8.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 15.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0	▲ 7.7
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 20.8
全体	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0	▲ 14.0

《景況推移グラフ》

